

これまでの主な取組事業

<b>1 魅力あふれる観光資源</b>
▼宮城オルレ推進事業【令和元年度当初予算 31,820千円】-交付金- 韓国・济州島発祥のウォーキングトレイル「オルレ」の新規コース造成やプロモーションの実施
▼中国FIT・SIT誘客促進事業【令和元年度当初予算 84,399千円のうち一部】-交付金- 中国からのスキーや教育旅行の誘客促進
▼フィルムコミッション推進事業費【令和元年度当初予算 2,044千円】 県の魅力を映画・テレビ等の映像を通じて内外に広く発信
▼県外観光客支援事業【令和元年度当初予算 32,500千円】-基金- 教育旅行やボランティアツアーなどを希望する学校や企業等の受入を支援
▼訪日教育旅行誘致促進事業【令和元年度当初予算 4,500千円】-交付金- 台湾からの受入促進セミナーや学校関係者等モニターツアーの実施

<b>2 受入環境の整備促進</b>
▼二次交通利用拡大事業【令和元年度当初予算 30,000千円】-交付金- 仙台空港から観光地へ向けた二次交通のプロモーション強化やネットワーク拡充に向けた試験運行の実施
▼外国人観光客受入環境整備促進事業【令和元年度当初予算 22,100千円】-基金- 公衆無線LAN機器設置や案内表示の多言語化、免税手続一括カウンター導入の経費補助
▼みやぎ観光戦略受入基盤整備事業【令和元年度当初予算 127,200千円】-基金- 自然公園施設の整備や老朽化施設の再整備
▼宮城県グリーン製品を活用した公園施設整備事業【令和元年度当初予算 20,000千円】-基金- グリーン製品を活用した自然公園案内板の設置

<b>3 効果的な情報発信</b>
▼東北連携による外国人観光客誘致促進事業【令和元年度当初予算 64,700千円】-交付金- 広域的な連携による東北地方が一体となった観光地としての魅力向上や統一的なプロモーションの展開
▼外国人観光客誘致促進事業【令和元年度当初予算 28,899千円】 タイでの東北6県トップセールスの実施や海外サポートデスクの設置等
▼先進的インバウンド促進事業【令和元年度当初予算 97,000千円】-交付金- 欧米豪の富裕層を対象とした海外エージェンシーによるセールス等の実施
▼通年観光キャンペーン事業【令和元年度当初予算 220,000千円】-基金- アニメキャラクター等を活用した通年キャンペーンの実施による誘客拡大
▼みやぎデジタルマーケティング推進事業【令和元年度当初予算 70,000千円】-交付金- WEBサイトの市場別対応や広告配信と継続的なデータ収集・分析に基づく事業展開、各国OTAサイトとの相互リンク

<b>4 観光産業の体制強化</b>
▼沿岸部交流人口拡大モデル施設整備事業【令和元年度当初予算 401,000千円】-基金- 沿岸部における宿泊・観光集客施設の整備補助
▼観光施設再生・立地支援事業【令和元年度当初予算 30,000千円】-基金- 被災した施設及び設備の復旧に要する経費や共同で施設を新設する際の経費助成
▼風評被害等観光客実態調査事業費【令和元年度当初予算 7,252千円】-基金- 風評被害による影響の実態を適時把握するためのデータ検証・分析
▼みやぎエコ・ツーリズム推進事業【令和元年度当初予算 1,000千円】 観光地における循環バス・シャトルバス等の運行経費補助
▼仙台・松島復興観光拠点都市圏事業【令和元年度当初予算 126,000千円】-交付金- 地域連携DMOが取り組むマーケティングリサーチや観光資源の発掘・磨き上げ、受入体制整備を支援

交流人口の拡大に向けては、優先度等を考慮し、様々な観光振興施策に計画的に取り組む必要があり、そのためにも安定的な財源確保が必要

(例) ■短期的な計画：観光資源を磨き上げ、国内外へプロモーションを行い誘客を促進  
□中長期的な計画：インフラ等の整備や、観光産業の人材育成等を行い受入体制を強化

これからの取組及び事業規模（案）

事業規模合計 35億円～45億円

施策の方向性	取組内容（例）	事業規模
1 魅力あふれる観光資源	①みやぎの魅力を活かした観光資源の発掘・磨き上げ ▼四季の風景や祭、温泉などを活かした観光の推進 ▼宮城オルレの推進と地元観光資源とのコラボレーションの推進	12億円 ～ 15億円
	②ニューツーリズムなどの新たな視点からの観光推進 ▼日本遺産（政宗が育んだ“伊達”な文化など）を活かした観光の推進 ▼バーホッピングなどの地元文化を取り入れた新たなツアーの推進	
	③体験型観光などの観光の質の向上 ▼旅行者のコト消費に対応した体験コンテンツ等の開発 ▼グリーン・ツーリズムや農泊の推進	
	④歴史的な価値のある観光資源や街並みの再整備 ▼多賀城創建1300年に向けた特別史跡周辺の環境整備等 ▼温泉街などの観光地の街並みの再整備	
	⑤沿岸部ににぎわい創出 ▼国内外からの教育旅行等の受入拡大 ▼震災遺構等を活用した復興ツーリズム・防災観光の推進	

施策の方向性	取組内容（例）	事業規模
2 受入環境の整備促進	⑥周遊しやすいインフラ・二次交通の整備・充実 ▼仙台空港から観光地への二次交通の充実や他県と連携した取組 ▼交通渋滞緩和等のオーバーツーリズム対策の実施	10億円 ～ 13億円
	⑦東北のゲートウェイ・仙台空港の活用・強化 ▼空港機能の強化やLCC等の新規路線の誘致	
	⑧わかりやすい観光案内の充実 ▼多言語案内看板の設置の推進	
	⑨誰もが訪れやすい環境整備 ▼宿泊施設等への公衆無線LAN機器設置・案内表示の多言語化 ▼災害時における観光客の受入態勢の整備	
	⑩言語・習慣・文化などの多様性への対応 ▼インバウンドに対応したキャッシュレスの推進 ▼観光施設等のトイレの洋式化・バリアフリー化	

施策の方向性	取組内容（例）	事業規模
3 効果的な情報発信	⑪東北一体の広域観光、国内の連携・周遊促進 ▼東北各県と連携したプロモーションの展開 ▼関係機関と連携した広域観光周遊ルートの造成とPR	6億円 ～ 8億円
	⑫インバウンド向けプロモーションの推進 ▼MICEの誘致・開催の推進 ▼訴求力の高いテーマ設定や現地エージェンシーとの連携強化による誘客促進	
	⑬国内向けプロモーションの推進 ▼通年観光キャンペーンや東北 destinations の展開	
	⑭デジタルマーケティングの推進 ▼デジタルマーケティングの手法による効果的な情報発信とデータ解析に基づく事業展開	

施策の方向性	取組内容（例）	事業規模
4 観光産業の体制強化	⑮観光施設等の整備・支援 ▼魅力の高い観光拠点施設の整備・改修の促進 ▼民泊施設や簡易宿所等の小規模宿泊施設の整備促進	7億円 ～ 9億円
	⑯観光事業者等の支援 ▼宿泊事業者等の生産性向上のための働き方改革やAI・IoTの導入促進	
	⑰明日の観光を担う人材確保・育成 ▼観光ガイドやデジタルマーケティング人材の育成に向けた研修等の実施	
	⑱多様化する観光ニーズの把握 ▼マーケティングデータに基づくニーズ把握の推進	
	⑲魅力ある持続可能な観光地域づくり ▼観光地における循環バスの運行 ▼再生可能エネルギーの活用による観光イベントや観光施設等での環境負荷低減の推進	

※この資料は、観光振興施策の方向性に基づいた取組について事業費を試算したものであり、観光振興財源を活用する具体的な事業は、今後の予算編成において検討していく。